

UNIT FOR GOOD

よいことのために手を取り合おう

2025~26年度年度
国際ローター会長 Francesco Arezzo

Rotary
東京麹町



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第2回例会 2025.7.14 (#2452) 舞の間
例会ホスト・紹介係 守屋会員
受付係 加賀会員 杉山会員
司会者 末竹会員 ソングリーダー 山田会員

卓話「委員長就任挨拶」

鈴木健治職業奉仕委員長・植芝充央社会奉仕委員長
山内美穂子国際奉仕委員長・園田悠子青少年委員長
吉沢京子米山委員長

前回の報告

第1回例会 2025.7.7 (#2451) 舞の間
例会ホスト・紹介係 木寅会員
受付係 山内会員 保科会員
司会者 末竹会員 ソングリーダー 山田会員

卓話「三役就任挨拶」

細谷 彬会長 吉田 弘和副会長 木寅 雅之幹事

今期のモットー: 「より高みを目指して」

会長報告

- 1) 本日から、第58期です、よろしくおねがいたします。今日は令和7年7月7日です。
- 2) ロータリーのテーマは「良いことのために手を取り合おう」です。クラブのモットーは「さらなる高みを目指して」御一緒に励みましょう
- 3) 地区委員に委嘱状が届いております(若林、加賀、木寅、藤田、中村会員へ)
- 4) 米山奨学生の陳好さんが出席です。

幹事報告

- 1) ことし一年宜しく願いいたします。クラブ活動計画書を配布しました。
- 2) 今期はじめての親睦会、納涼会は8月4日です。是非ご参加ください。
- 3) 来年2月10日に開催予定のポリオ根絶チャリティー公演:ライオンキングのチケットを御協力いただける枚数をお知らせください。
- 4) 恒例の中央分区ゴルフ予選会が10月7日に開催されます。奮ってご参加下さい。
- 5) 例会終了後に定例会理事会在御座います。理事の方はお残り下さい。
- 6) 今期の各委員長、副委員長の方は 18:00 からのクラブ協議会にご出席下さい。

例会記録

会員総数 61名 出席会員数 27名
ゲスト 0名 ビジター 0名
その他 1名 海外ビジター 0名
事務局 3名

ニコニコボックス

金田会員:細谷会長一年間宜しく願いします。
細谷会員:1年間宜しく願い致します。
崎山会員:細谷会長木寅幹事宜しく願いします
荘村会員:細谷会長一年間宜しく願いします
齊藤会員:細谷会長木寅幹事1年間宜しくお願
いします
末竹会員:細谷会長今期宜しく願いします
時園会員:細谷・木寅年度の始まりですね。
今期宜しく願いします。
パートナー誕生日:内田会員(1日)
植芝守央会員(2日)
結婚記念日:秋山会員(26日)
誕生日祝い:保科会員(2日)浅野会員(3日)
木寅会員(17日)秋山会員(16日)

次回予告

第3回例会 2025、7、28 (#2453) 会場:舞の間
例会ホスト・紹介係 吉田会員
受付係 浅野会員 藤田会員
司会者 末竹会員
ソングリーダー 山田会員

卓話「各委員長挨拶」

荘村プログラム委員長
末竹SAA委員長
守屋親睦委員長
山田健康管理委員長



認知症の予防×経済対策の研修

認知症アドバイザー協会 (株)ダイナブライト代表理事

廣瀬 豪輝氏(6/2 卓話 須藤会員紹介)



認知症アドバイザー協会は 10 年前、脳科学の権威である久保田競先生の監修の下に発足しました。当初は認知症予防を目的としていましたが、現在はそれだけでなく、認知症になってしまったときの経済的リスクを回避するため、認知症予防×金融、予防医学

×経済対策というテーマで活動しています。

認知症は単なる物忘れとは異なり、記憶が抜け落ちてしまう病気です。久保田先生の定義によれば、脳内の異常たんぱく質の蓄積や脳の血管障害によって神経細胞が死滅することで物忘れをしますが、言い方が非常に曖昧です。なぜなら、認知症は正式な病名ではなく、症状の総称だからです。

認知症は、全員に共通する中核症状と、人との関わりの中で起こる行動・心理症状に分かれます。中核症状には記憶障害、時間や場所が分からなくなる見当識障害、理解判断力障害などがあり、いきなりではなく徐々に悪くなっていきます。行動・心理症状には失禁、不眠、睡眠障害、うつ、幻覚などがあり、本人は意識していないために注意すると怒り出し、お互いにストレスがたまることとなります。

わが国は人生 100 年時代ともいわれる一方、要支援・要介護認定者はこの 10 年で 175 万人も増加しました。要介護の原因の 1 位は認知症が 24.3%と増加しており、今では 65 歳以上の 5 人に 1 人が認知症と診断されています。

認知症には種々の課題があるのですが、私たちはその中でも資産凍結に注目しています。認知症になると、その方の資産を守るために、銀行預金や有価証券などは基本的に引き出しや解約ができなくなります。2025 年には日本の個人金融資産のうち 200 兆円が凍結されるといわれ、不動産も含めると 300 兆~350 兆円になると推計されるので、仮に 1%でも予防できれば 2 兆~3 兆円の経済効果となるわけです。

唯一凍結されない資産が生命保険であり、最近では本人が意思能力を失ってしまった場合、代理人が解約権を持つことができる契約者代理請求人制度も設けられています。しかし、何も対策をせずに認知症になってしまうと、法定後見人制度しかありません。家庭裁判所が任命した司法書士や弁護士などの専門家が後見人になるのですが、資産に応じて月 1 万~6 万円の顧問料を払い、

お金を使うためには許可が必要になるため、当たり外れがかなり大きいといわれています。一度も顔を見せに来なかったり、水漏れの修理や毎年の家族旅行が否認されることもあるそうで、国としては家族の使い込みを防ぎ、本人の資産を守るために設けている制度なのですが、家族にとっては使い勝手が良くないのが実情です。

自分自身で後見人を選べる任意後見人制度もありますが、契約関係が難しいため弁護士や司法書士に依頼することになり、安くないイニシャルコストやランニングコストを甘んじて受け入れる必要があります。

仮に認知症になっても、お金を引き出したり不動産取引をしたりすることはあるので、全国銀行協会は約 4 年前、本人との取引を基本的に制限する指針を出しました。振り込め詐欺の被害や、遺産分割協議で裁判沙汰になる事例が多発したためです。ここ数年で急激に厳しくなっており、今後のために対策しておくことが重要です。

もちろん認知症にならないことが一番大切ですが、原因がはっきりしておらず、基本的には治らない病気だといわれています。予防のためには、料理が非常に良いとされています。最終形態を考えながら買い物に行き、切ったり、削ったり、煮たり、焼いたりして、最終的に盛り付けますし、味覚も使います。手も足も頭も使うのでとても良いのです。

久保田先生の一番のお勧めは、走ることです。走るのが難しければ、膝を高く上げて歩くことも有効です。つまり転んで認知症になってしまう例も多いので、ぜひ膝を高く上げて散歩することを意識してください。生活習慣病も原因になり得ます。糖尿病患者はアルツハイマーになる確率が 2~3 倍高まるといわれています。

認知症にはプロセスがあり、MCI(軽度認知障害)の状態です。正しく治療すれば、最大 40%の方が健常者に戻れるというデータもありますので、ぜひ早期に専門医に診てもらい、具体的な治療・予防を行ってください。しかし予防は 100%ではないので、なってしまったときのことを事前に考えて対策することも大切です。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968 年 6 月 17 日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	細谷 彬	FAX:03-3263-9122
幹事	木真 雅之	e-mail office@koujimachi-rc.jp
公共イメージ 向上委員長	保科 充弘	URL: www.koujimachi-rc.jp